

# 草原学習館を活用した阿蘇の草原を広く知ってもらう取り組み

- 実施主体 公益財団法人阿蘇グリーンストック
- 実施場所 阿蘇草原保全活動センター草原学習館
- 実施期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日



## <背景・ねらい>

草原の現状を知ってもらうため、草原学習館では、館内の展示等を利用して、地域内外の学校を対象とした草原環境学習や来館者を対象とした草原保全に関わる普及啓発活動を行っている。

また、地域の関係機関及び団体と協力連携しながら様々な取り組みを進め、社会全体で保全活動を行なっていく。

## ■実施概要

### ○学校を対象とした草原環境学習プログラムの実施

- ・学習館の施設や立地を活かして、草原学習を実施した。(展示物を用いた説明・解説、映像視聴、各種体験、野草観察等)

### ○草原学習館の利用促進

- ・修学旅行生を対象に館内の展示を使って阿蘇の草原について紹介した。
- ・草原フェスティバル2019を開催した。

### ○草原自然情報の発信

- ・館内の掲示板を活用して、季節に応じた草原の様子や活用を来館者に伝える情報の掲示を行った。

### ○イベントや草原観察会の開催

- ・夏休みや冬休みにあわせて、子どもたちが楽しみながら草原について学べるイベントを実施した。(草原ぬり絵、草原クイズラリー、ジェットシューター体験)
- ・草原に親しむため草原スケッチを開催した。(雨天プログラム)

### ○阿蘇の自然や草原に関わる企画展の開催

- ・写真展及び企画展を実施した。(昆虫写真展、野鳥写真展、絵手紙展、草原ぬり絵・絵画コンテスト展示等)



修学旅行生の草原学習

## ■実施体制

- ・阿蘇グリーンストック
- ・野焼き支援ボランティア、的野原管理組合、宮坂牧野組合、草原環境学習小委員会、横田整一郎氏、日本野鳥の会、写友会、絵手紙クラブ



夏休み体験イベント

## ■成果

- 学校対象の草原環境学習プログラムの実施 14団体 454名
- 草原学習館の利用促進
  - ・修学旅行生 3団体 140名
  - ・草原フェスティバル2019 利用者約1,500名
- 草原自然情報の発信 4回(四半期毎)
- イベントや草原観察会の開催
- 阿蘇の自然や草原に関わる企画展の開催 6回



草原スケッチ(雨プロ)

## ■実施者の感想

- ・参加者を募り草原スケッチや輪地切り体験を予定していたが、雨天の為すべて中止となった。雨天時プログラムのさらなる充実を図る必要がある。また、年齢層にあわせた多様な体験プログラムの構築を目指す。